

富士見を「教育の町」にします

平成24年度の子ども課方針についてお知らせします

■学力向上強化による「教育の町」づくりの取り組み

平成23年度の学習指導要領の改定に伴い、小中学校の学習内容が高度化し、ゆとり教育からの転換が図られています。また、諏訪地域では平成26年度より諏訪清陵高校の中高一貫教育が予定されており、小学校での基礎学力の強化の取り組みが求められています。さらに、中学校でも確かな学力の一層のレベルアップが求められます。そこで、以下3点の学力向上に向けた重点施策を推進します。

- ① 大学教授など外部講師を招き授業改善と子どもの理解力アップを図る
- ② 英語学力向上に向けた小中一貫した教育の実施と公的支援によるALT配置

教育長談話「平成24年度は教育の質の向上に本格的に取り組む“教育元年”の年としたい。」

確かな学力の向上を目指して



富士見町の子どもは、それぞれ特色ある小学校教育を受け、1つの中学校に通うことになりました。小学校教育で共通していることは、どの小学校でも学習指導要領に基づき確かな学力を身につけることです。そして、その力をさらに中学校で磨くことです。確かな学力とは、知識技能を身につけ、その力を活用し探究できることです。そのことにより思考力、判断力、表現力が育ち、意欲的に学ぶ子どもになり、これからの社会で生きていける基盤をつくる必要があります。

そこで、富士見町ではすべての小中学校で、どの子にも確かな学力をつけることを各学校の最大の重点目標にして取り組んでいます。富士見町の子どもの学力向上を町内5つの小中学校総力を挙げて取り組むために、町学力向上推進委員会を4月に立ち上げ検討しています。今までの検討内容は、次の点です。

1. 富士見町の児童・生徒の学力を客観的に把握する
(学力診断テスト(CRT検査)や全国学力テストでの分析)
2. 分析から課題を明らかにして授業で改善していく
3. 家庭学習のあり方、全町統一の「家庭学習に関する手引き書」の作成
4. 小学校と中学校の相互の連携。授業を通しての学力向上
(特に、算数・数学及び外国語活動・英語の繋がり)の検討)

具体的な点は次号以降お知らせしていきます。“知識基盤社会”で富士見町の子どもが持てる力を堂々と発揮し活躍できる確かな学力をつけていきたいと考えています。ご支援をお願い申し上げます。(町学力向上推進委員会委員長・渡邊文雄=富士見小学校長)

PTA 教育の話題を熱く語り合う

11月12日(土)行った町PTA連合会主催の教育フォーラム。第1部のワークショップは窪田あずさ先生を講師に「ボクササイズ」で軽く汗を流し、日頃の運動不足解消をしていただきました。

第2部では分散会形式で皆さんから各ご家庭の様子などを披露していただきました。子育ての話題で熱く語っていただいたお父さん方にとっては少し時間が足りないようでした。多くの話題をご提供いただき、ありがとうございます。この教育フォーラムが各ご家庭での栄養剤となる事を期待いたします。(町PTA連合会長 近藤雅彦)

12月18日(第3日曜日)は家庭の日

家の掃除や片付けなど、新年を迎える準備を家族で協力して行い、互いに助け合える家庭づくりに努めましょう。

編集後記

日頃の先生方の子どもに対する熱心な取り組みに感謝します!(Y)



富士見町
教育委員会だより
第72号

平成23年12月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.fujimi.nagano.jp

定例教育委員会
12月14日(水)
午前9時30分より
役場2階
教育長応接室
傍聴歓迎!

子どもに関する
なんでも相談
月曜日～金曜日
午前9時～午後5時
☎62-9233
家庭相談員(宮沢)



(「子育てホットファミリーかるた」より)